

旭川医科大学基金 令和6年度 活動報告書

Asahikawa Medical University Fund Annual Report 2024-2025



目次

学長ご挨拶	2
令和6年度実績報告	3
令和6年度支援事業報告	4
開学50周年記念事業	5
クラウドファンディング報告	6
芳名録	7
看護学科開設30周年記念事業	7



▶ 学長で挨拶



旭川医科大学学長
西川 祐司

日頃より本学をあたたく見守っていただき、ありがとうございます。
本学は素晴らしい自然環境に恵まれた旭川市にある国立医科大学として、有能で献身的な医師、看護職者を養成するとともに、医学・看護学の発展に貢献することを理念として掲げ、日夜、教育、研究、診療に取り組んでおります。また、本学教職員および学生は、急激に少子高齢化、人口減少が進む道北・道東地域において本学が医療を支える最後の砦であることを自覚し、この地域の皆様に安心して暮らしていただくための真に有効な医療体制を作り出すための独自の新しいプロジェクトを進めております。

報道等で皆様ご承知のことと思いますが、多くの国立大学および国立大学病院は、国からの基盤的経費（運営費交付金）が毎年減額される中で、急激な物価高騰、光熱費増、人件費増に対応せざるを得ず、深刻な赤字財政と

なっています。本学も例外ではなく、現在、大学および病院で総力を挙げて財政状況の改善に取り組んでおりますが、先の見えない苦境がしばらく続く見込みです。このような状況において、本学基金へのご寄附、寄附講座設置、クラウドファンディングへのご協力などを通じた、市民の方々、自治体、企業の皆様からのサポートほど私たちを鼓舞してくれるものではありません。

本学開学 50 周年記念の際に皆様からいただいたご寄附で、予定しておりました学生食堂のリニューアル工事を進めており、今年度中に完成する見込みです。また、基金による自己資金調達への努力が文部科学省に高く評価され、福利厚生施設整備事業が認められました。現在、学生食堂に隣接する学生セミナー室や保健管理センターを含む福利厚生施設改修工事も同時に着手しており、来年 4 月には多目的交流プラザとして生まれ変わります。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。お近くに来られた際には、是非お立ち寄りください。

今後とも本学へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

▶ 称号件数

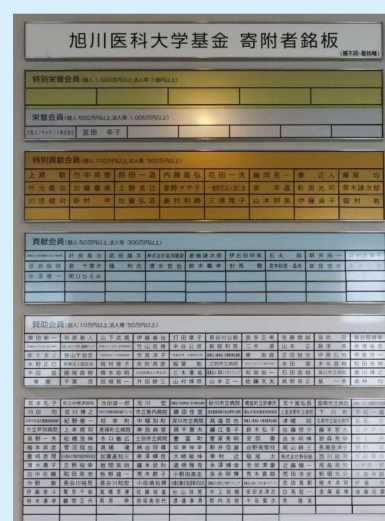
旭川医科大学基金創設以降にお贈りした会員の称号件数（累計）は下記のとおりです。

令和 7 年 3 月 31 日時点

称号区分	寄附金額		個人	法人等
	個人	法人等		
特別栄誉会員	1,000 万円以上	1 億円以上	0	0
栄誉会員	500 万円以上	1,000 万円以上	1	1
特別貢献会員	100 万円以上	500 万円以上	25	1
貢献会員	50 万円以上	300 万円以上	20	2
賛助会員	10 万円以上	50 万円以上	181	84

会員の称号をお贈りした寄附者様のご芳名を掲示した銘板を旭川医科大学病院レストラン「ななかまど」前の廊下に設置しています。

なお、開学 50 周年記念基金にご寄附いただき、会員の称号をお贈りした寄附者様のご芳名は開学 50 周年記念事業にて改修後の学生食堂付近の銘板に掲示させていただきます。



▶ 令和 6 年度 実績報告



令和 6 年度 収入		
寄附受入総額	83 件	8,487,024 円
前年度からの繰り越し		154,342,902 円
利息		89,551 円
合計 (A)		162,919,477 円

令和 6 年度 支出		
支援事業	●研究活動助成事業	22 件 2,756,211 円
	●留学生支援事業	1 件 360,000 円
	●学部学生海外活動助成事業	1 件 100,000 円
	●学校生活の環境整備支援事業	1 件 3,239,500 円
	●卒業生に対する奨学資金貸与事業	1 件 1,200,000 円
	事務費ほか	1,953,939 円
	合計 (B)	9,609,650 円

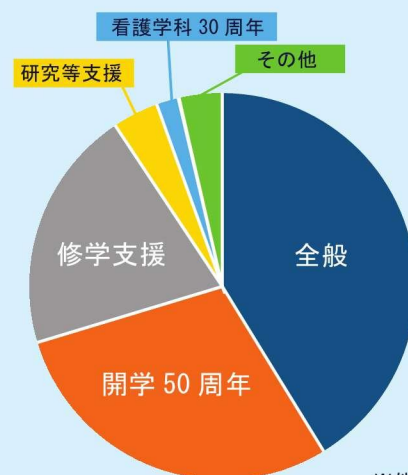
年度末 基金残高 (A-B) ・ ・ ・ 153,309,827 円

※うち 8,573 万円は開学 50 周年記念事業の一環として、令和 7 年度に福利厚生施設のリニューアルに使わせていただいています。

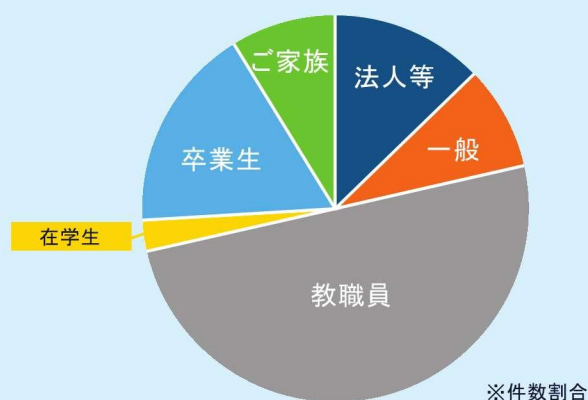
▶ 令和 6 年度旭川医科大学基金への寄附内訳



< 寄附目的別 >		
全般	35 件	4,561,000 円
開学 50 周年記念事業	25 件	2,241,724 円
修学支援事業	15 件	175,000 円
研究等支援事業	3 件	110,000 円
看護学科開設 30 周年記念事業	1 件	30,000 円
その他	4 件	1,369,300 円



< 寄附者属性別 >		
法人等	7 件	2,700,000 円
個人	76 件	5,787,024 円
①一般	11 件	1,702,000 円
②教職員	43 件	2,012,000 円
③在学生	1 件	69,300 円
④卒業生	15 件	1,723,724 円
⑤学生のご家族	6 件	280,000 円



▶ 令和 6 年度 支援事業報告



26 件の支援事業を実施しました。研究者、学生にとって大変有意義な支援を行うことができました。これらの事業を支えてくださった皆様に、厚く御礼申し上げます。

事業名	件数	内容
研究活動助成事業	22 件	基盤的科学研究の分野で、自立した研究を後押しし外部資金の獲得につなげるべく、科学研究費に応募した実績のある研究を支援しました。
留学生支援事業	1 件	私費留学生（大学院生）1 名を 1 年間支援しました。
学部学生海外留学助成事業	0 件	令和 6 年度は応募がありませんでしたが、令和 7 年度は支援を受ける学生がすでに留学準備中です。
学部学生海外活動助成事業	1 件	海外医療支援活動に参加した学生の渡航費用を支援しました。
学生生活の環境整備等支援事業	1 件	学生ロビーと臨床講義棟ロビーのテーブルとイスを更新しました。
卒業生に対する奨学資金貸与事業	1 件	国家試験不合格となってしまった学生のために、卒業後 1 年間、国家試験の受験準備に専念できるよう奨学資金を貸与しました。

● 研究活動助成事業 ●



基盤的科学研究の自立化支援助成として、22 件の研究課題を支援しました。

そのうち、米国科学誌「Journal of Biological Chemistry」に掲載された共同研究成果を一部ご紹介します。

「卵子染色体の正常性維持におけるヒストン修飾の新たな役割を解明
～ヒストン修飾 H3K4me3 は卵染色体や紡錘体の安定性を制御する～」

生物学教室 日野 敏昭 准教授

この研究により、従来は主に遺伝子のオン・オフを調節する働きが知られていたヒストン修飾が、転写が停止した卵子においても染色体の安定化という新たな機能を果たしていることがわかりました。今後は、卵子の染色体分配が乱れるメカニズムをさらに詳細に解明し、ヒストン修飾を標的とした新しい不妊治療法の開発や、加齢による卵子品質低下の予防につながる医療応用が期待されます。

詳しくは QR コードからご覧ください。



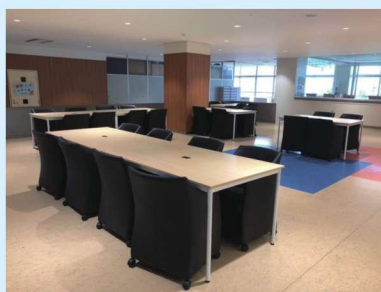
● 学生生活の環境整備等支援事業 ●



講義実習棟学生ロビーと臨床講義棟玄関ロビーのテーブルと椅子を更新しました。

皆様からいただいたご寄附を、学生が自ら用途を決めて更新したものです。

基金では、今後も学生生活が快適なものになるよう、学生生活の環境整備への支援を行ってまいります。



講義実習棟学生ロビー



臨床講義棟玄関ロビー

● 学部学生海外留学助成事業・海外活動助成事業 ●

令和7年3月22日から29日にかけて、歯科口腔外科学講座を中心とする診療隊5名（医学生1名を含む）がベトナム・ベンチェ省を訪問し、グエンディンチュー病院にて口唇口蓋裂患者を対象とした無償での医療支援活動を実施しました。基金では、この活動に参加した学生1名について、学部学生海外活動助成事業として、渡航費用を支援しました。

- ベトナム社会主義共和国ベンチェ省
ベンチェ グエンディンチュー病院
約1週間
医学科3年（当時） 瀧澤 理生さん



初診の様子



手術を受ける子どもと



手術の様子

令和7年度は、学部学生海外留学助成事業として、以下の留学の支援を決定しております。

- ポーランド共和国シュチェン市 ポメラニアン医科大学 約1か月 医学科6年 草刈 瞳さん
- タイ王国ランパーン市 ランパーン病院 約2週間 医学科5年 辻田 悠希さん

本学では、基金の助成制度による支援を受けない場合も含め、多くの学生が海外留学・海外活動を経験しています。留学の詳しい報告は、本学ウェブサイト内「国際交流」のページに掲載しており、感謝と希望に満ちた留学報告となっていますのでご紹介します。ぜひ一度お読みいただければ幸いです。

留学は学生の視野を大きく広げています。海外で経験を積み自国の医療に貢献したいと志すきっかけ、国際的に活躍し日本と世界の医療に貢献する人材を志すきっかけ、この先の医師人生をどう歩んでいくかについての指標となるなど、それぞれに大変貴重で大きな得難い経験となっています。

基金では、学部学生海外留学助成制度・学部学生海外活動助成制度を継続して行っております。これからも学生の未来に期待していただき、温かいご支援をお願い申し上げます。

留学体験談一覧

HOME > 教育／学生生活／就職 >
国際交流 > 留学体験談（目次）



▶ 開学50周年記念事業 福利厚生施設リニューアル着工

開学50周年記念事業として計画いたしました学生食堂をはじめとする福利厚生施設等のリニューアルにつきまして、令和7年6月、ついに着工いたしました。完成は令和8年2月。新しくなった学生食堂のそばに、ご支援いただいた方々のご芳名を掲げた銘板を飾る予定です。

令和4年12月に開設した「開学50周年記念基金」にはこれまでに8,573万円（687件）のご寄附をいただいております（令和7年3月31日時点）。多くの皆様の温かいご支援に心より御礼申し上げます。



学生食堂完成イメージ

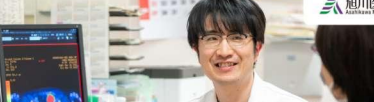
乳酸菌をはじめとする
有益微生物が生み出す

小児白血病 への
“薬の候補”を探したい！

 慶応医科大学
Keio University Graduate School of Medicine

トしました。今後も研究の成果を社会へ還元できるよう努めてまいりますので、引き続き温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご寄附総額 4,905,000 円 寄附者 255 人



移植治療の環境を整え

“血液がん治療”の
地域格差を解消したい

旭川医科大学
Asahikawa Medical University

地域格差を解消したい。これからも、当院での造血幹細胞移植の充実および CAR-T 細胞療法の導入を進め、血液がん治療の地域格差の解消に向けて努力して参ります。引き続き、応援のほどよろしくお願い申し上げます。

膵がんで亡くなる方を減らすために
 早期発見への検診から、診断法開発につなげたい

山形医科大学

頂いた資金を有効活用し、私どもの研究成果を血液などの体液検体を用いた「膵がん診断パネル」の開発へと繋げ、早期診断へ向けた臨床応用へと結実できますよう、全力で取り組んで参りたいと思います。

ご寄附総額 11,170,000 円 寄附者 285 人



旭川医科大学基金 令和 6 年度 寄附者芳名録

＜期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日＞

これまで多くの皆様からのご賛同を賜り、多大なるご寄附をお寄せ頂きました。

ここに、そのご芳情に対しまして感謝を申し上げますとともに、ご芳名を掲載させていただきます。

法人等

一般財団法人 旭仁会 豊富町

個人

朝井裕一	柿本拓志	上小倉廣機	小林康彦
佐々木高明	佐渡正敏	清水恵子	鈴木義幸
對馬徹	鶴間正代	長瀬亜津子	新村中恵
細井誠哉	本間大	三浦雅子	宮本晶恵
山本明美			

※ご芳名の掲載についてご了解いただいた方のみ、「寄附申込書」に記載いただいたご芳名、企業・法人・団体等名を掲載しております。

※掲載は原則として五十音順とし、敬称、代表者名は省略させていただいております。

開学 50 周年記念基金へご寄附いただいた寄附者様のご芳名は「開学 50 周年記念サイト」Web 芳名録に掲載させていただいております。QR コードからご覧いただけます。



クラウドファンディングへご寄附いただいた寄附者様のご芳名は「旭川医科大学クラウドファンディングウェブサイト」Web 芳名録に掲載させていただいております。QR コードからご覧いただけます。



「旭川医科大学医学部看護学科 開設 30 周年記念事業」へのご支援のお願い



旭川医科大学開学 50 周年に続き、令和 8 年に旭川医科大学医学部看護学科が開設 30 周年を迎えます。開設 25 周年の令和 3 年から「旭川医科大学医学部看護学科開設 30 周年記念事業」を立ち上げ、これまでに多くの皆様から温かいご支援を賜りましたこと、心より御礼を申し上げます。

開設 30 周年を迎えるにあたり、記念式典、シンポジウムの開催をはじめとした記念行事の計画を立てております。また、看護学科独自ホームページを開設するなど、看護学科の活動をより広く知っていただくための広報活動を行っております。

皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、引き続き温かいご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。



旭川医科大学基金へのご寄附のお願い

旭川医科大学基金では、本学における教育及び研究活動の充実を図るとともに、地域医療に根ざした医療・福祉のさらなる向上を目指すことを目的とし、様々な支援事業を行っています。

皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【ご寄附の内容】

1. 基金全般
2. 修学支援事業
3. 研究等支援事業
4. 地域医療支援事業
5. 看護学科開設30周年記念事業
6. その他

【基金へのお申込み方法】

1. クレジットカード、コンビニエンスストアでの払込
2. 郵便振替払込
3. 銀行振込
4. 大学窓口への直接払込



旭川医科大学 Web サイトからお申込みください。

旭川医科大学
公式ニュースレター

配信中

ぜひメールアドレスの登録をお願いいたします。

<https://krs.bz/amu-el/m/new>



バックナンバーはこちらからご覧ください。

<https://www.asahikawa-med.ac.jp/guide/public/publication/nl/>



旭川医科大学

〒078-8510

北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話：0166-68-2118（担当：総務課広報・社会連携係）

メール：kikin@asahikawa-med.ac.jp

ウェブサイト <https://www.asahikawa-med.ac.jp/index.html>